



間伐は みどりを育てる 深野昭

島根県の間伐材を使用した印刷用紙・間伐ホワイト(国産材(間伐材パルプ10%を含む)70%を配合)を使用しています。

森林・林業総合情報誌

しまねの もり 森林



NO. 14

平成21年1月号
通巻254号

平成20年度 島根県緑化ポスター原画コンクール 入賞作品

小学校の部 特選

中学校の部 特選

高等学校の部 特選

特殊教育諸学校の部 特選



「木を育てよう」

出雲市立神戸川小学校3年
藤井 美瑠



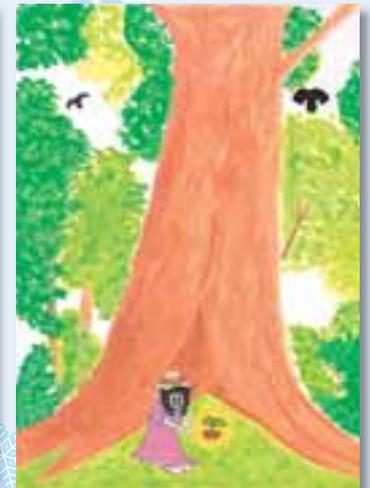
「みんなで緑をふやそう」

益田市立高津中学校3年
熊谷 友梨



「緑の手」

県立安来高等学校3年
原田由美子



「大きな樹木」

松江ろう学校 高等部1年
椿 三佳

2 森林のたより
斐伊川流域6森林組合による
県産材供給にむけた取組がスタート
林業課 木材振興室

4 森林のトピックス
島根県におけるくくりわな規制の一部解除
森林整備課 鳥獣対策室

5 森林のトピックス
島根県エコロジーきのご推奨 第1号!
安全で美味しい島根の農林水産物認証制度
報告書が知事に提出されました
林業課 木材振興室

6 ズームアップ
しまね環境一品!知恵の環づくり
根っとワーク事業入賞者決定!!

環境生活部 環境政策課 環境企画グループ
財しまね自然と環境財団 松江事務所

7 森林へ行こう!
vol.⑩ 丸瀬山 (浜田市・邑南町)

しまねの自然
森林と野鳥⑥ サシバ

8 そこが知りたい シリーズ①
提案型集約化施業の動き
林業課 林業普及スタッフ

9 森林の研究
森林を伐った後は?
中山間地域研究センター 農林技術部 森林保護育成グループ

2009『しまねの森林』フォトコンテスト作品募集中

しまねの もり 森林

NO. 14

平成21年1月号
通巻254号

表紙の説明

◇平成20年度島根県 緑化ポスター原画コ ンクール入賞作品

島根県と(社)島根県緑化推進委員会では、児童・生徒の緑化思想の高揚を図るため、平成20年度島根県緑化ポスター原画コンクールを開催しました。

表紙の作品は、応募のあった299作品から審査の結果選ばれた特選の4作品(小学校、中学校、高等学校、特殊教育諸学校各1作品)です。

2009 「しまねの森林」 フォトコンテスト 作品募集中

「しまねの森林」発行委員会では、島根県の恵み豊かな自然、緑豊かな森林を多くの人々に理解して頂くために、テーマを「しまねの森林」として作品を募集しています。

(フォトコンテストの詳細は平成20年10月号または島根県林業課のホームページをご覧ください。)

島根県林業課ホームページ

<http://www.pref.shimane.lg.jp/ringyo/>

森林のたより

斐伊川流域6森林組合による 県産材供給にむけた取組がスタート

林業課 木材振興室

斐伊川流域森林組合納材協議会の設立

平成20年10月9日、島根県の東部に位置する斐伊川流域内の6つの森林組合が、県産材の安定的な生産と供給を目的に、「斐伊川流域森林組合納材協議会」を設立しました。

■斐伊川流域森林組合納材協議会のメンバー

会長	仁多郡森林組合	代表理事組合長	絲原 徳康
副会長	しまね東部森林組合	代表理事組合長	澤田 直明
	松江八束森林組合	代表理事組合長	狩野 文男
	大原森林組合	代表理事組合長	石橋 大造
	飯石森林組合	代表理事組合長	立石 幸
	出雲地区森林組合	代表理事組合長	手銭白三郎

■協議会の目的

この協議会は、持続可能な林業経営と森林の多面的機能の発揮を実現するため、成熟期を迎えた森林から木材を定時、定量に生産し、より有利な木材販売を通して、その収益をより多く森林所有者に還元することを目的としています。



■協議会が取り組む事業

- ①原木の定期的納材を図るための共同出荷体制の確立
- ②合板会社との原木需給量の調整
- ③合板会社との原木取引に関する協定の締結
- ④原木に関する諸調査の実施、研究及び情報の交換並びに先進地の視察
- ⑤安定した原木需給に関する供給者及び需要者の施設整備等に関する提案・要請

※木材販売管理システムの開発・導入を予定（H20年度農林水産振興がんばる地域応援総合事業）

未来を見つめ、人と自然と産業の豊かな調和をめざします。

 **農林中央金庫**
松江支店

松江市殿町111 松江センチュリービル4F TEL(0852) 21-4411

緑と水を育む豊かな森を明日の世代へ
一制度資金のご融資を通じて地元林業を応援しますー

 **日本政策金融公庫**
松江支店 農林水産事業

〒690-0887 松江市殿町111番地(松江センチュリービル7階)
TEL: 0852-26-1133 E-mail: matsue@afc.jfc.go.jp
FAX: 0852-24-5334 HP: <http://www.afc.jfc.go.jp/>

株式会社日新及び湖北ベニヤ株式会社と合板用原木の取引協定



日新グループ2社は、国の国産材利用拡大政策に対応するとともに、経営の合理化を図るため、原材料を外材から地域材（スギ）にシフトする方針を打ち出しました。

これと、県産材の有効利用により森林経営の強化を図りたいとする納材協議会側との思惑が一致し、平成26年度には、年間30,000m³の取引を目指すことで合意しました。

あわせて、合板工場では、地域材の加工特性に対応するため、施設整備を実施する予定です。

供給目標

単位：m³

	H22	H23	H24	H25	H26
目標量	17,000	20,000	24,000	28,000	30,000

合板会社の概要

	株式会社日新	湖北ベニヤ株式会社
所在地	鳥取県境港市西工業団地100	松江市富士見町3-13
代表者	代表取締役社長 又賀航一	代表取締役社長 又賀航一
設立	平成10年9月24日	昭和45年10月21日
生産量	20,000m ³ /月	3,800m ³ /月

再植林支援へ助成制度の創設

納材協議会と合板会社2社は、原木の安定的な取引のための協定の締結にあわせ、伐採後の再造林を支援する助成金制度を創設することを発表しました。

伐採後の再造林に費用がかかることから、伐採に対して消極的な森林所有者に森林経営への意欲を持ってもらうことをねらいとし、基金を作り再造林を支援します。

基金の仕組み

納材協議会と合板会社2社は、原木を1m³取引するたびに100円ずつ出し合い基金を積み立てます。年間400万円程度を積み立てる予定で、再造林のための苗木を購入する際にいくらかの助成をする仕組みを検討しています。

地球にやさしいカートカン

※国産材30%以上を使用した紙製飲料容器です。

ep
3.9
紙製飲料容器「カートカン」はストローいらずでゴクゴク飲めます！

カートカンのサイクル

30%以上国産材を使用

POKKA
「自販機半額」
0315634-1621 ext.
POKKA コーポレーション
<http://www.pokka.co.jp/>

島根県における くくりわな規制の一部解除

森林整備課 鳥獣対策室

■法律の経緯

平成18年に行われた鳥獣の保護及び狩猟の適正化に関する法律の改正により、従来の網・わな猟免許が網猟免許とわな猟免許に区分されました。これは、農家等を中心に、農林業被害を防止するためにわな猟により鳥獣を捕獲する事例が増えていること、網猟とわな猟では対象とする鳥獣や必要な技術・知識が大きく異なるため、免許の取得に過剰な負担を課すことのないようにしたものです。

島根県では、平成17年度から特区制度を導入し、わな免許のみの取得が可能となっており、この改正ではその制度をそのまま移行する形となりました。

一方で、ツキノワグマなどの希少野生動物の錯誤捕獲が頻繁におこること、また、錯誤捕獲がおきた場合の当該鳥獣の損傷を軽減し、解放を促すため、とらばさみの使用が禁止されるとともに、くくりわなの構造基準が見直されることとなりました。

■くくりわな規制の内容

● イノシシ・ニホンジカの捕獲を目的とするもの

- 輪の直径が12cm以内であること
- 締め付け防止金具が装着されていること
- ワイヤーの直径が4mm以上であること
- よりもどしが装着されていること

● イノシシ・ニホンジカ以外の捕獲を目的とするもの

- 輪の直径が12cm以内であること
- 締め付け防止金具が装着されていること



■くくりわな規制の一部解除の内容

一部解除のポイント

- ツキノワグマの錯誤捕獲防止に配慮したものであること
- イノシシ、ニホンジカの捕獲の妨げとならないものであること
- 中山間地域研究センター保有のツキノワグマのデータ(219プロット)を分析



西中国山地ツキノワグマ
保護管理協議会担当者会議

くくりわな規制に関する
検討会

市町村からの意見聴取

公聴会

自然環境保全審議会
鳥獣保護部会

法第14条第3項に基づく
一部解除

イノシシ・ニホンジカの
捕獲に限り、くくりわなの
輪の直径の制限12cm以内
を、15cm以内とする。



森林の中で働く人のお手伝いをします

島林労確 |

検索

1. 林業労働者の募集
2. 新規就労者及び雇用主に対する研修
3. 林業就業促進資金の貸付
4. 高性能林業機械の貸付
5. 林業雇用に関する情報の提供・相談その他の援助
6. 雇用改善のための啓発活動

島根県林業労働力確保支援センター (社団法人 島根県林業公社内)

松江市母衣町55番地4(松江商工会議所ビル6F) TEL(0852)32-0253 FAX(0852)21-4375
E-Mail shimane-roukakuc@forestry-shimane.or.jp



島根県エコロジーきのこ推奨 第1号!

“消費者に安心して選んでもらえるきのこをつくりたい”
 “きのこの生産を通して、島根の緑豊かな森林を守りたい”

島根県では、こうした生産者の思いを消費者に伝えるため、使用する木や水質にこだわった県独自の推奨基準を策定し、島根県エコロジーきのこ推奨制度を運用しています。

このたび、松江市島根町の「島根町菌床椎茸生産組合」がこの推奨第1号として推奨決定されました。推奨期間は、平成20年10月8日から1年間。

- (1) 団体名/島根町菌床椎茸生産組合 (組合長 余村明幸)
- (2) 生産物名/菌床生シイタケ
- (3) 推奨マーク



詳細はHPでご確認ください。

<http://www.pref.shimane.lg.jp/life/syoku/anken/kinoko/eco.html>



安全で美味しい島根の農林水産物認証制度報告書が知事に提出されました

島根県では、消費者の皆様へ、より一層安全な農林水産物をお届けするとともに、島根県産品の品質向上のため、「安全で美味しい島根の県産品認証制度」の創設を検討しております。

平成20年11月27日、県産品認証等検討委員会委員長 山本廣基氏（島根大学副学長）より、溝口県知事に制度概要の報告がなされました。

島根県エコロジーきのこ推奨制度は、新たに創設されるこの認証制度に統合される予定です。

【報告書概要】(抜粋)

○制度の特徴

- (1) 安全性を確保する基準と、品質を確保する基準の両方を兼ね備えた産品を認証。
- (2) 島根らしい特色ある基準。
- (3) 消費者に生産地や栽培履歴などの情報をきめ細かく的確に提供する。

○制度の構成

- (1) 対象品目/農産物、畜産物、林産物、水産物の一次産品。
- (2) 認証基準

安全性を確保する基準とは、より安全な産品を生産するために必要な事項を定め、それを実践して、記録を残す取り組みであるGAP(生産工程管理)手法を導入した基準。

品質を確保する基準とは、品目によって、細菌・ウイルス検査の実施や、安全性の高い資材の使用といった安全強化基準、又は味、香り、食感、外観、鮮度等といった嗜好性基準。

このほか地域が提案する地域特性基準を設定。

- (3) 認証機関/島根県
- (4) 残留農薬検査について
消費者のより高い安心感を醸成するためには、残留農薬検査の実施が必要。

募 集

認証商品にふさわしいマークのデザインを募集しています。

認証マークを付けることによって、島根の産品が「安全・安心」で「高品質」であることを示すものです。シールやのぼり、パンフレットなどに広く使用します。

詳細は、HPでご確認ください。締め切りは平成21年1月31日(消印有効)です。

<http://www.pref.shimane.lg.jp/norinsomu/>

自然との調和

松くい虫防除薬剤

ヤシマスミパイン乳剤
 ヤシマスミパインMC
 マツグリーン液剤2
 モリエート SC

松くい虫駆除薬剤

ヤシマ NCS
 ちゅらシート
カシナガ予防薬剤
 ケルスケット

松くい虫予防薬剤

グリーンガード・エイト

瞬間殺蜂スプレー

ハチノックL・S



ヤシマ産業株式会社 大阪営業所
 〒532-0011 大阪市淀川区西中島7-1-26 オリエンタルビル5F
 TEL 06-6886-0241 FAX 06-6886-0242



しまね環境一品! 知恵の環づくり根っとうワーク事業 入賞者決定!!

環境生活部 環境政策課 環境企画グループ
(財)しまね自然と環境財団 松江事務所

(財)しまね自然と環境財団では、環境省から受託して「しまね環境一品!知恵の環づくり根っとうワーク事業」を実施しています。

この事業は、県内各地で地球温暖化防止に取り組んでいる活動(一品)を募集し、モデル的な活動の環を広げていくことを目的に平成19年度から行っています。

今年度は7団体から応募があり、去る11月5日に島根県環境審議会吉川通彦会長を選定委員長とする選定委員会により審査を実施し、入賞者を決定しました。

なお、グランプリを受賞されたNPO法人日本古民家研究会は、県代表として2月に東京で開催される全国発表会に参加されます。



移築に向けて解体する様子

グランプリ

いにしえ「古の技術」は最先端技術

NPO法人日本古民家研究会 (大田市祖式町)

【活動の概要】

古民家に使われる建材を再活用することで、解体時に排出される二酸化炭素を削減し、地球温暖化防止に貢献しています。県内の古民家はおよそ18万棟で貴重な地域資源です。これを活かし、解体→移築作業を通じて建築技術を次世代へ伝承します。

※古民家とは昭和20年以前に建てられた木造民家



再生前



再生後



内部(再生後)

準グランプリ

「エコレンジャー作戦6つで活動中!」

EUT (エコレンジャー海はたからもの)の会 (浜田市内村町)

地域環境特別賞

「環境と観光のコラボ」キャンドルナイトまつえ ミニミニR~衣類のり・ユース市~

キャンドルナイトまつえ実行委員会 (松江市北堀町)
NPO法人コアラッチ (益田市乙吉町)

地域環境奨励賞

どこでもバスブックの発行 「みどりのカーテン」で夏を乗り切ろう

まちかど研究室 (松江市殿町)
益田地域地球温暖化防止推進の会 (益田市乙吉町)

詳しくは、ホームページ<http://nature-sanbe.jp/eco>をご覧ください。

森林へ行こう! vol. 10

まる せ やま 丸 瀬 山

●浜田市・邑南町／標高：1,021m



トビ岩から望む丸瀬山山頂（手前）とスキー場のある阿佐山北峰（後方）

丸瀬山は、島根県と広島県の県境に連なる西中国山地国定公園東端の阿佐山塊の一部で、浜田市と邑南町の境に位置する山です。往時にはこの山塊全体を丸瀬山と呼んでいたとも伝えられています。

丸瀬山山頂の北には、巨石が並ぶトビ岩（986.5m）があり、ここを丸瀬山山頂として記述されることもあります。

阿佐山塊には、この丸瀬山のほか、主峰の阿佐山（1,218.2m）や三ツ石山（1,163.4m）、天狗石山（1,191.8m）など県境に1,000m級の峰々が連なっており、登山者には縦走も楽しまれています。そして、阿佐山北峰（1,210m）の瑞穂ハイランドスキー場のほか、三ツ石山のアサヒテングストーンスキー場など島根、広島両県にスキー場があり、ウィンタースポーツの一大拠点となっています。

丸瀬山への登山ルートは、邑南町市木の瑞穂ハイランドスキー場のハイランドサイド駐車場付近からとなります。ゲレンデ（チェスナットコース：2,600m）を登っていくと丸瀬山への尾根の取り付きにスキー場施設の建物があり、そこから尾根筋のブナの大木へ向けてクマザサの中を進むと、ブナ、ミズナラ、クリなどの木々に包まれていきます。そのまま緩やかな尾根を進むと山頂です。山頂には木製の標識が掲げられているだけで、樹木に遮られて見晴らしは良くありませんが、ここから標識に従って570mで好眺望のトビ岩に至ります。（所要時間：約2時間、登山シーズン：4月～11月）

丸瀬山を含む西中国山地は、ツキノワグマの生息地です。鈴を鳴らして歩くなどの用心が必要ですが、浜田市と邑南町両方の市木小学校の校歌にも歌われているようにもっと親しんでほしい秀峰です。

〔内藤暢文〕



原山トンネル付近から望む丸瀬山（中央）と阿佐山塊

しまねの自然

森林と野鳥 ⑥

サシバ (タカ科)

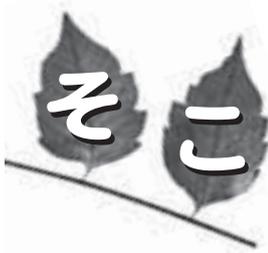
猛禽類は生態系の頂点に位置する生物として知られており、奥山ではクマタカが、里山ではサシバがその代表的な種であろう。クマタカは周年その地域に生息する留鳥であるが、サシバは春に南方から渡ってきて日本で子育てを行い、秋に南に渡っていく夏鳥である。カラスより一回り大きなタカである本種は、秋の渡りの時に大群をつくって渡ることでもよく知られている。愛知県の伊良子岬や鹿児島県の佐多岬などがサシバの集団渡りのウオッチングポイントで、9月下旬から10月中旬には多くのバードウォッチャーが岬を訪れる。

このサシバ、30年ほど前までは県内の里山で比較的にふつうに見られる鳥であったが、近年めっきりその姿を見ることが少なくなった。そのため、島根県のレッドデータブックでは絶滅危惧種に選定されている。減少の理由は定かではないが、越冬地である東南アジアや中継渡来地の生息環境の悪化のほか、わが国における



里山や谷奥の水田の荒廃もその原因の一つと考えられている。営巣木として利用していたアカマツが、松くい虫によって次々と枯れてきていることも、樹上で営巣する本種にとって深刻な問題である。遠くからでも聞き取れる「キンミー」と聞こえる独特の鳴き声が、サシバの悲壮な叫びに聞こえるのは皮肉なものである。

〔佐藤仁志〕



「**そ**」**こ**」が**知りたい** シリーズ①

林業課 林業普及スタッフ

今月号から、森林・林業をとりまく、「旬」な話題をシリーズでお届けします。

◆**提案型集約化施業の動き**◆

■**整いつつある条件**

本県においては、昭和30年代後半から積極的な造林が進められ、森林資源は充実してきています。今までは山を造り育てる時代（投資段階）でしたが、これからは、育てた資源を有効に使う時代（利用段階）に入ります。

一方需要面では、合板工場と価格や供給量について協定を締結し、木材を安定的に一定量供給する流れも整い、木材の供給先も確保されつつあります。

また、効率的な作業を可能にする高性能林業機械は平成19年度末現在65台導入され、今年度も約20台の導入計画があり、積極的に木材を生産できる条件は整いつつあります。

■**集約化の動き**

少しずつ条件は整いつつありますが、1人1人の所有規模は小さく、個々に作業を行ってはいは効率的な作業はできません。そこで、複数の森林所有者の森林をとりまとめ、集約化し、1箇所の事業規模を拡大する動きが各地で加速化しています。



■**提案型施業の推進**

全国的なもう1つの動きとして、森林組合等の事業体が森林所有者に対して、「施業提案書」を提示し、積極的に施業の提案を行う取り組みが、全国的に進められています。

- ① 間伐や枝打ち等の必要な森林作業を提案
- ② 作業実施に必要な経費
- ③ 木材の販売収入等の見込み

を金額で示し、森林所有者に対して収支見込みを明確にして、施業を働きかける取り組みです。

この提案型施業をすすめるためには、伐採等の技術・路網開設技術・コスト分析技術等の総合的な知識・技術を持った人＝「森林施業プランナー」の養成が必要であり、県内の森林組合等においても、森林施業プランナーの早期養成に努めています。

■**県内の現状は？**

既に県内でも、森林所有者に対して施業提案書を提出し、集約化を進めている事業体があります。その事業体では積極的な機械化と継続した人材養成により、木材生産量も増加し、生産コストが下がり、森林所有者に対する木材代還元も可能になってきています。

他の事業体においても、集約化による経営規模の拡大や生産コスト低減等の取り組みは不可欠であり、県内各地域において、この提案型集約化施業の取り組みが始まっています。

「あなたの森林が事業体からの提案を受ける日も遠くはない・・・？」

（藤原）



**みんなで
森林を守ろう!**

山陰の森林・環境を守ろうとするNPO法人やボランティア団体が結集しています。

森林を守ろう!

山陰ネットワーク会議

事務局 山陰合同銀行地域振興部内 松江市魚町10 TEL.0852-55-1820

植物油 生分解性オイル

YSバイオチェーンオイル

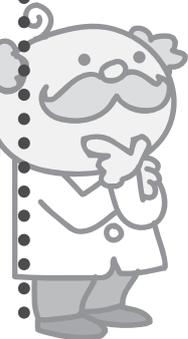
エコマーク認定番号 第04110009号・特許 第3513132号

●全国をネットする総合潤滑油メーカー

ヤナセ製油株式会社

本社/06-6939-1251・米子営業所/0859-27-2933

森林の研究



森林を伐った後は？

中山間地域研究センター 農林技術部 森林保護育成グループ

■はじめに

再生可能な資源である木材を利用することは、地球温暖化の防止など環境問題にも大きく役立ちます。そのためにも「植える」、「伐る」、「再生する」という、森林利用の流れを保つことが大切です。とくに、切株からの芽（萌芽）が出にくいスギ、ヒノキなどの人工林では、森林の再生が問題となっています。



ホオノキの萌芽



再造林された伐採跡地

■人工林伐採跡地の調査

過去の伐採状況の調査（伐採照査）から、スギまたはヒノキ人工林が0.3ha以上皆伐されている場所を8か所選びました。すべて道路に面していて、再び植栽することが簡単だと思われそうですが、再造林されているのは2か所しかありませんでした。

■再造林が終了していない場所の状況



ササ、クズに覆われた伐採跡地

再造林が終了していない場所の多くはササ、シダ、クズなどで覆われていました。このような状態になると他の植物が発生し難くなり、健全で利用価値の高い森林が再生するまでには非常に長い時間が必要です。このことから、スギ、ヒノキ人工林を伐採した後は、植栽による森林の再生が重要です。

（主任研究員 山中啓介）

社団法人 島根県森林土木協会

◆ 治山事業、林道事業及び
森林整備事業の普及促進

松江市母衣町55林業会館
TEL：(0852)21-2669
FAX：(0852)21-2231
E-mail：sima-sdk@axel.ocn.ne.jp

インフォメーション

元気がでる！ 島根県民の森(飯石郡飯南町小田)

県民の森へ行こう!!

2月～3月のイベントのご案内

《県民の森ふれあい講座》

申込先:中山間地域研究センター 県有林管理スタッフ
TEL 0854(76)2302

- ◆2/ 1(日) スノーシューで雪の森を歩こう(定員20名)
- ◆2/ 8(日) 親子でかまくらづくり(定員20名)
- ◆2/15(日) スノーシューで雪の森を歩こう(定員20名)

県民の森で思いっきり新雪を楽しみませんか。足跡はキツネかテン、それに野ウサギ…誰も歩いた痕跡はありません。例年、積雪は1m以上。親子でかまくらづくり。どんな室ができるかな。思いっきり汗をかいてください。

県民の森は山陰唯一の森林セラピー基地に認定されています。森林の癒しの効果を5感で感じ取られてはいかがでしょうか。いつでも県民の森をご案内します。お気軽にご相談ください。詳しい情報はホームページをご覧ください。

<http://www.pref.shimane.lg.jp/chusankan/mori/>

身近な自然に親しもう！ 島根県立ふるさと森林公園
触れ合おう！ 松江市宍道町佐々布

「里山自然塾」に参加してみませんか？

ふるさと森林公園を管理している島根県立緑化センターでは、公園内の自然を活用したイベントの一環として里山自然塾を年間12回開催しています。

2月～3月の講座のご案内

- ◆2/1(日) 第11回講座「どんぐりをおいしく食べてみよう」
- ◆3/1(日) 第12回講座「枝でミニチュア家具を作ろう」

◇時間：10:00～15:00

◇定員：各回20名程度

◇参加料：無料(事前予約が必要です)

◇問い合わせ、申し込み先：ふるさと森林公園学習展示館

TEL 0852-66-3586

島根の山を まかせてください！「グリーンマイスター」新たに11名誕生

このたび平成20年度「島根県林業作業士養成研修」の全教程が終了し、12月9日(火)に認定証交付式が行われました。

今年は、11名の方が新たに「島根県林業作業士(通称：グリーンマイスター)」として認定されました。

この研修は、森林組合や民間の林業事業体に雇用されている若手の現場技術者(40歳未満)で、林業の基本技術を習得して、将来の作業班のリーダー(班長)になりうる方を対象に、より幅広く専門的な林業の技能・知識を習得してもらうために実施しています。

グリーンマイスターの認定状況は、昭和57年度から昨年度までに209名の方が認定されており、今年度11名を加え、合計220名の方が認定されています。

現在、回復基調にある国内の木材生産に対応するために、木材生産技術者の養成が緊急の課題となっています。

この11名の方を含めたグリーンマイスターの方が中心となって、島根県の林業が活性化することを願っています。



2008『しまねの森林』 フォトコンテスト

入賞作品展を開催!

平成20年11月18日(火)から30日(日)まで、島根県立図書館において、入賞作品10点の展示を行いました。(作品展の様子は、NHKのローカルニュースでも紹介されました。)



メールマガジン

『しまねの森林』メンバー募集中!

森林・林業・木材産業に関する各種情報を満載したメールマガジンを配信します。

◆配信内容

配信周期：毎月1回程度(不定期)

料 金：無料

主な内容：行政情報、イベント情報、
募集情報、木材市況など

◆登録方法

パソコン・携帯電話から次のメールを送信していただければ、登録は完了となります。

宛先：ringyo@pref.shimane.lg.jp

題名：メルマガ登録

本文：ご職業 (例) 林業

お住まいの市町村

(例) 松江市

全面改訂された

島根県土木部・農林水産部の

「島根県公共工事共通仕様書」

～平成20年4月1日以降適用～

2分冊(本編・別冊(施工管理基準))

セット価格計6,300円

ご購入希望の方は、下記へご連絡ください。
申込用紙をFAXにてお送りいたします。ご購入の上で返送をお願いします。



ご注文・お問い合わせは

ハーベスト出版【株谷口印刷内】

TEL 0852-36-9059 FAX 0852-36-5889

URL <http://www.tprint.co.jp/harvest/> E-mail: harvest@tprint.co.jp 〒690-0133 島根県松江市東長江町902-59



**林業・木材製造業
労働災害防止協会
島根県支部**

〒690-0886 松江市母衣町55
林業会館3F
TEL 0852-21-3852
FAX 0852-26-7087

森林の緑を守り、緑を育てる

—主要販売品目—

- ◎林木苗畑（除草剤、殺虫、殺菌剤）
- ◎松くい虫防除薬剤（スミパインMC、林業用NCS）
- ◎林地除草剤（フレック粒剤、ザイトロンフレック微粒剤）
- ◎樹幹注入剤（ネマノーン、グリーンガードエイト、マツガード）

山陽薬品株式会社 島根支店

〒690-0011 松江市東津田町1252
TEL (0852) 23-3721(代) FAX (0852) 27-5322

豊かな緑 豊かな水をみんなで守る。



「緑の募金」運動が多くの皆様に理解され、
県民挙げての運動として発展していきますよう
ご協力をお願いします。

(社)島根県緑化推進委員会 (特定公益増進法人)

松江市母衣町55 島根県林業会館内
TEL(0852)21-8049 FAX(0852)21-8231

森林は、いつも危険と隣りあわせ

森林国営保険 に入りませんか



大量積雪による幹折れ、
根返りなどの損害

山火事で受けた損害

- 樹種、林齢に制限はありません。
(天然林、竹林は除く)
- 1年単位で、ご希望の年数で加入できます。
- 火災、風害、水害、雪害、干害、凍害、潮害、
噴火災の8つの自然災害が対象。

最寄の森林組合・森林組合連合会・県庁森林整備課までお気軽にお問い合わせください。

サンケイ化学の松くい虫防除資材

多目的使用(空中散布・地上散布)が出来る

スミパイン®MC

伐倒木用くん蒸処理剤

キルパー®

松枯れ防止樹幹注入剤

グリーンガード®・エイト

お問い合わせは 県森連・森林組合へ

サンケイ化学株式会社 大阪営業所

大阪市淀川区西中島4-5-1 TEL 06(6305)5871

新発売 散布用薬剤

モリエート®SC

伐倒木くん蒸用生分解シート

ピオフィレックス®

マツノマダラカミキリ成虫誘引剤

マダラコール®

除草はおまかせ下さい!

竹類に効果抜群です!

クズ株処理剤

○ **テンレート**

非農耕地用除草剤

◎ **日本カーリット株式会社**

九州営業所

福岡市博多区博多駅前1-4-4

☎ (092) 473-6521

FAX (092) 451-8195

○ **グンコウ** 液剤

1株一ワンプッシュ 経済的

◎ **野津善助商店**

本社 八東郡東出雲町大字錦浜583-10

☎ (0852) 53-0670(代)

FAX (0852) 53-0674

E-mail: notsu@tx.miracle.ne.jp

育林、林産、森林土木、造園等の施工管理

緑を育て水をはぐくむ

大和森林株式会社

代表取締役社長 椎名 宜三

本社 島根県松江市東朝日町87番地6 〒690-0001

☎ (0852) 21-6222(代)

営業所 松江、益田、鳥取、三次、岡山



安全・安心・美味しい

日本産原木しいたけ栽培を応援します

財団法人 日本きのこセンター

三次支所

広島県三次市畠敷町916-2 (三次地方卸売市場内)

TEL 0824-63-1226 FAX 0824-63-2012

広域 民国連携 現地検討会

- 日時:平成20年11月19日(水)
- 場所:奥出雲町八川



県庁林業課

URL : <http://blog.goo.ne.jp/f-kentyou/>

松江 斐伊川水系水源の森づくり 「東出雲町・安来市住民交流会」を開催

- 日時:平成20年11月15日(土)
- 場所:安来市広瀬町西谷地区



東部農林振興センター

URL : <http://blog.goo.ne.jp/f-matsue/>

雲南 斐伊川水系水源の森づくり 「出雲市・奥出雲町住民交流会」を開催

- 日時:平成20年11月29日(土)
- 場所:奥出雲町大呂



東部農林振興センター雲南事務所

URL : <http://blog.goo.ne.jp/f-kisuki/>

出雲 日御碕森づくり 「神蹟隠ヶ丘の整備」

- 日時:平成20年12月6日(土)
- 場所:出雲市大社町日御碕



東部農林振興センター出雲事務所

URL : <http://blog.goo.ne.jp/f-izumo/>

浜田 島根県林業研究グループ自主研修 「壊れにくい作業道づくり」

- 日時:平成20年11月29日(土)~30日(日)
- 場所:浜田市弥栄町
ふるさと体験村・現地



西部農林振興センター

URL : <http://blog.goo.ne.jp/f-hamada/>

県央 景勝「志都の岩屋」で 植樹活動

- 日時:平成20年11月22日(土)
- 場所:邑南町岩屋



西部農林振興センター県央事務所

URL : <http://blog.goo.ne.jp/f-kawamoto/>

益田 集材機での魚骨状間伐も! 利用間伐現地検討会を開催

- 日時:平成20年12月9日(火)
- 場所:津和野町相撲ヶ原ほか



西部農林振興センター益田事務所

URL : http://blog.goo.ne.jp/f-masuda_001/

隠岐 里海(豊かな海づくり)実現の ための森林づくりがスタート

- 日時:平成20年11月29日(土)
- 場所:隠岐の島町津戸



隠岐支庁農林局

URL : http://blog.goo.ne.jp/f-oki_001/

農大 高性能林業機械 基礎実習

- 日時:平成20年12月8日(月)~12日(金)
- 場所:大田市波根町
農業大学校



島根県立農業大学校森林管理科

URL : <http://blog.goo.ne.jp/f-nodai/>